

新井もりお 市政報告

ARAI MORIO
A MUNICIPAL REPORT

egao iwatsuki

さいたま市議会は9月定例会が41件の提出議案（予算議案8件・決算議案4件・条例議案6件・一般議案14件・道路議案2件・人事議案7件）が議決され、10月17日に閉会しました。私が最後の委員長を務めました地下鉄7号線延伸事業特別委員会も大きなひとつの役目を終え、発展的解散を致しました。今後は、もう一步踏み出し、総合政策委員会にて「岩槻駅周辺まちのあり方ビジョン」や「中間駅まちづくり方針」について調査研究を重ねて参る次第です。

私たちのまち、またさいたま市・岩槻区に関するご意見ご要望がございましたら、新井もりお事務所へお寄せください。

新井もりお事務所 発行

市民相談窓口 [市民の声]

要電話予約 受付時間（月火木金）

10:00～12:00 14:00～16:00

さいたま市岩槻区大字徳力86番地201号

TEL 048-812-7218 FAX 048-812-7219

Email: morimori-morimori@rose.plala.or.jp



令和7年度 所属委員会

常任委員会

予算委員会（副委員長）

総合政策委員会

特別委員会

総合振興計画基本計画審査特別委員会

大都市行財政将来ビジョン特別委員会（委員長）

地下鉄7号線延伸事業特集！

令和7年6月定例会 新井森夫地下鉄7号線延伸事業特別委員会委員長報告（抜粋）

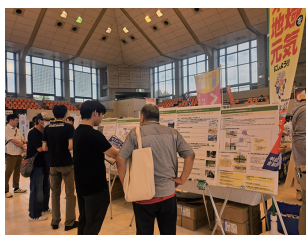
～最後の委員長として、目的達成の経緯を示す～

平成21年に設置された地下鉄7号線延伸事業化特別委員会は、長期にわたり継続して調査研究に取り組んで来た。その間、国においては平成28年4月に交通政策審議会から東京圏における今後の都市鉄道の在り方について答申がなされ、その中で本延伸性についても地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクトとして位置づけられ、埼玉県東部と都心部とのアクセス利便性の向上を期待すると延伸事業の意義が示された。

令和3年6月には清水市長より速達性向上事業に関する計画の素案作成を進めるとの議会答弁があり、令和5年度中の事業実施要請に向けて取り組みが加速したが、労務単価や資材単価の上昇等の影響により事業費が増額となったこと、アフターコロナにおける鉄道需要や物価上昇率など考え方の基準がない不確定要素について、行政と鉄道事業者の協議が調わなかったことなどから、事業実施要請には至らなかった。

令和6年1月、事業着手に向けて鉄道事業者の最新かつ専門的な情報や知見を活用するための新たな取り組みとして鉄道事業者に対する技術支援要請が行われ、当要請に基づき鉄道事業者と一体となって建設費の縮減や工期の短縮と共に、事業効果の向上策の検討を行うなど、計画の深度化を推進した。

令和7年2月、費用便益費が1.0を超える見通しが立ったこと、令和7年6月には本年度中に埼玉県と連名で事業実施要請を行う方向性が示され、国土交通省へ要望書を提出したことなどを受け、本委員会は、所期の目的を達成することができた。



10/19 やまぶきまつり会場で行われた「地下鉄7号線中間駅まちづくり方針 オープンハウス形式説明会」の様子

